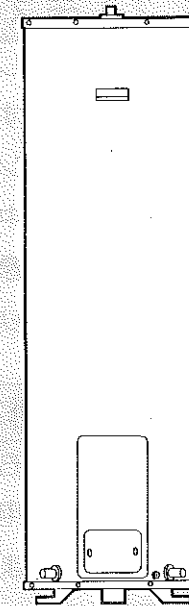


HEC 深夜電力用 電気温水器 取扱説明書

第2 深夜電力(5時間)

HE-2201



この温水器が第2 深夜電力(5時間)用であることを
工事店にご確認ください。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また 据付け工事要領書を工事店からお受取りください。
お読みになった後はたいせつに保管してください
万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きつとお役に
たちます

目次

各部の名称と働き	1
使用上のご注意	2
・給湯・水漏れ・電気	
据付け後の確認	3 . 4
・据付け図・確認	
使用方法	5 . 6
・使用前の準備	
凍結防止について	5 . 6
・暖かい地域でご使用のお 客様も必ずお読みください	
使用しないときには	7
・タンク内の水抜きをする 場合	
・タンク内の水抜きをしな い場合	
日常の点検とお手入れ	8 . 9
・配管の点検・タンクのお 手入れ	
・漏電しゃ断器の点検	
・減圧弁(ストレーナー部) のお手入れ	
・逃し弁の点検	
上手な使いかた	10
アフターサービスと保証	10
修理を依頼される前に	11
仕様	11

ご購入(据付け)年月日	年 月 日
工事店名	TEL

お客様へ……おぼえのため、ご購入年月日、工事店名を記入されると便利です。

北電営配エンジニアリング株式会社

給湯口

お湯の出口です。下部の給水口より水が入り、給湯口よりお湯が押しだされます。

スイッチカバー

このカバーを開けると湯温切換スイッチ・電源レバー・テストボタンがあります。

湯温切換スイッチ

このスイッチで沸き上げ温度を高(約85℃)、低(約65℃)の切換ができます。

ドレンパン用排水口

万一水漏れを生じた時の排水口です。

漏電しゃ断器電源レバー

このレバーで深夜電力電源を「入」・「切」することができます。使用中は常に「入」にしておきます。

漏電しゃ断器テストボタン

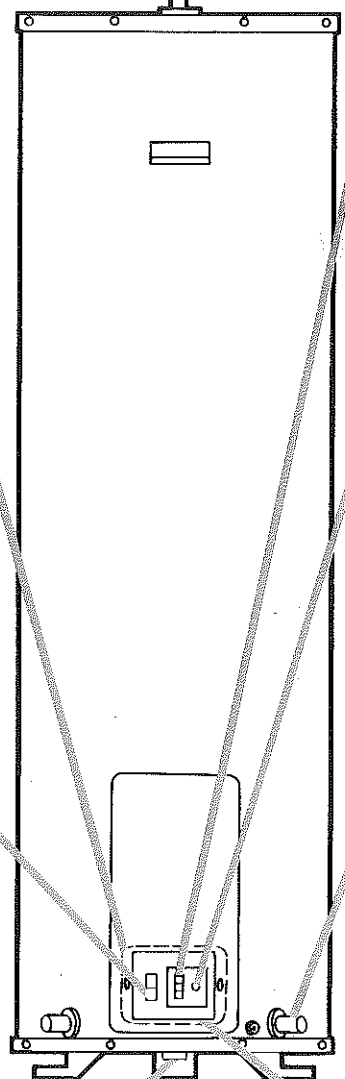
漏電しゃ断器が正常に動作するかテストするボタンです。深夜電力通電中にボタンを押すと電源レバーが「切」になります。

給排水口

左と右にあります。給水用と排水用に使い分けます。

アース端子

本体を「接地」するためのアース線接続端子です。



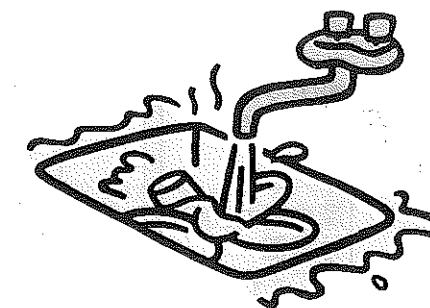
給湯

ヤケドにご注意ください。給湯せんからは熱いお湯がでます。金属部も熱くなります。



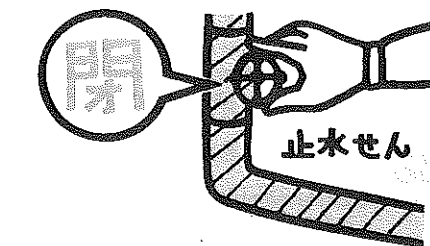
深夜電力の通電時間帯にお湯を使いますと翌日の湯温が低くなる場合があります。

貯湯量には限りがあります。湯のムダ使いに気をつけ上手に使ってください。



水漏れ

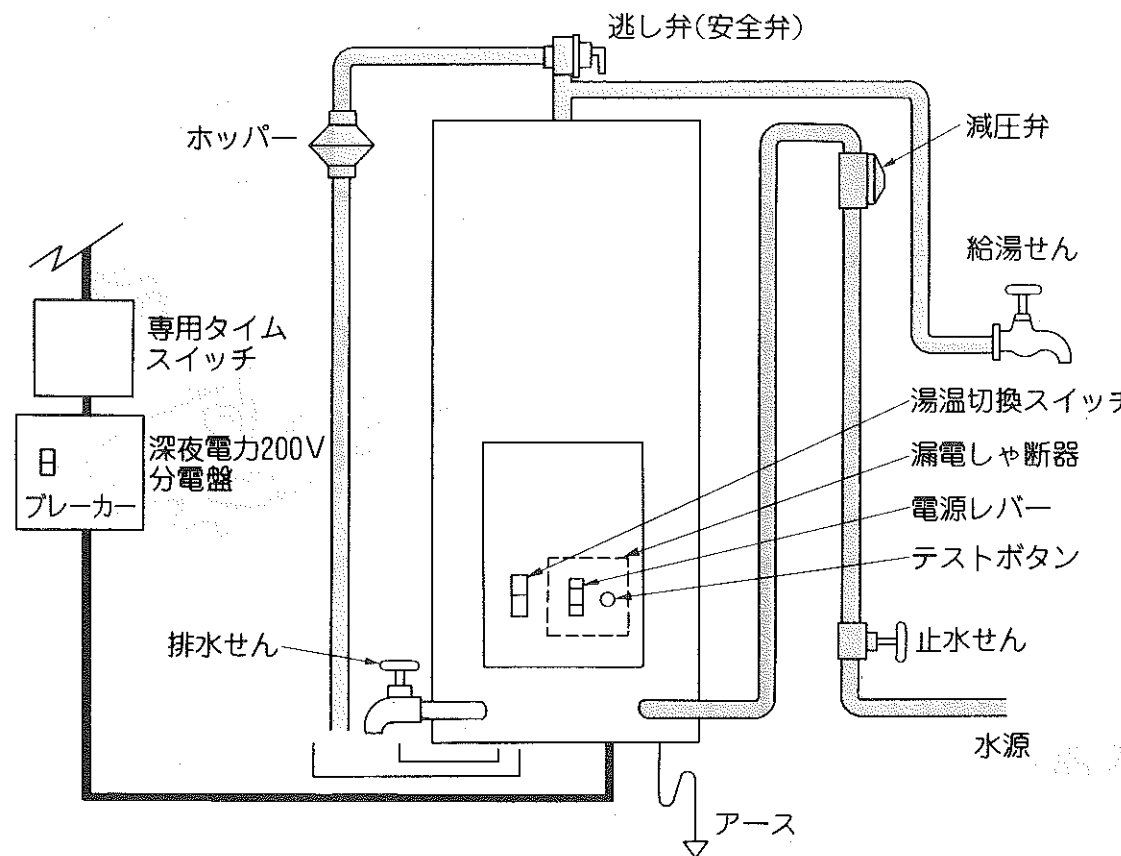
万一、水漏れが生じたときは止水せんを閉じてください。通常は「開」になっている止水せんを閉じ、それから工事店へご連絡ください。



据付け後の確認

据付け図(この図は工事後の、簡単な据付け略図です)

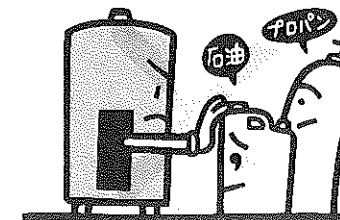
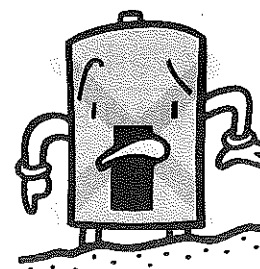
名称はお客様がお手入れや点検時に必要な部分の名称です。



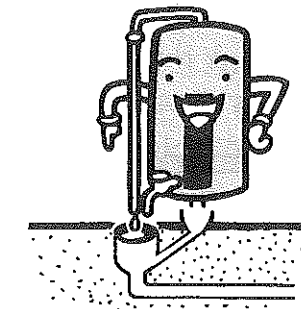
確認

温水器の据付け・配管・電気工事は専門の工事店が施工しておりますが、正しくお使いいただくためにも工事店に工事内容をご確認ください。

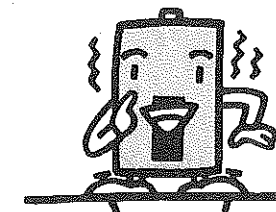
- 足場のしっかりした場所に設置してある。
- 火気やガスボンベなどの引火物は本体のそばに置かない。



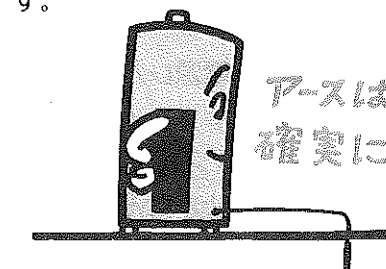
- 万一、水漏れしても漏れた水が排水溝に確実に導かれるようになっている。



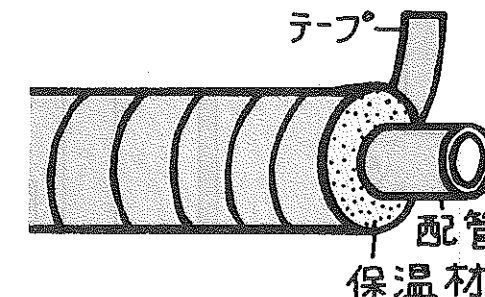
- 脚部をアンカーボルトで固定してある。地震に備えて本体の転倒を防ぎます。



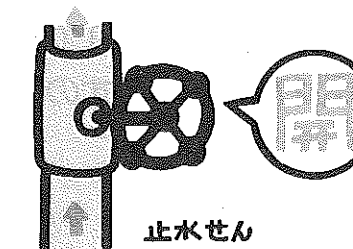
- アース工事が施工されている。本体アース端子にアース線が接続されます。



- 配管に保温材が巻かれている。



- 止水せんの位置を確認する。いつも「開」にして温水器と水源を直結しておきます。万一の水漏れ・故障の際に閉じると水は止まります。



- 冬期の凍結防止対策について工事店に確認する。(くわしくは5~6ページ) 凍結防止対策は、地区により異なります。

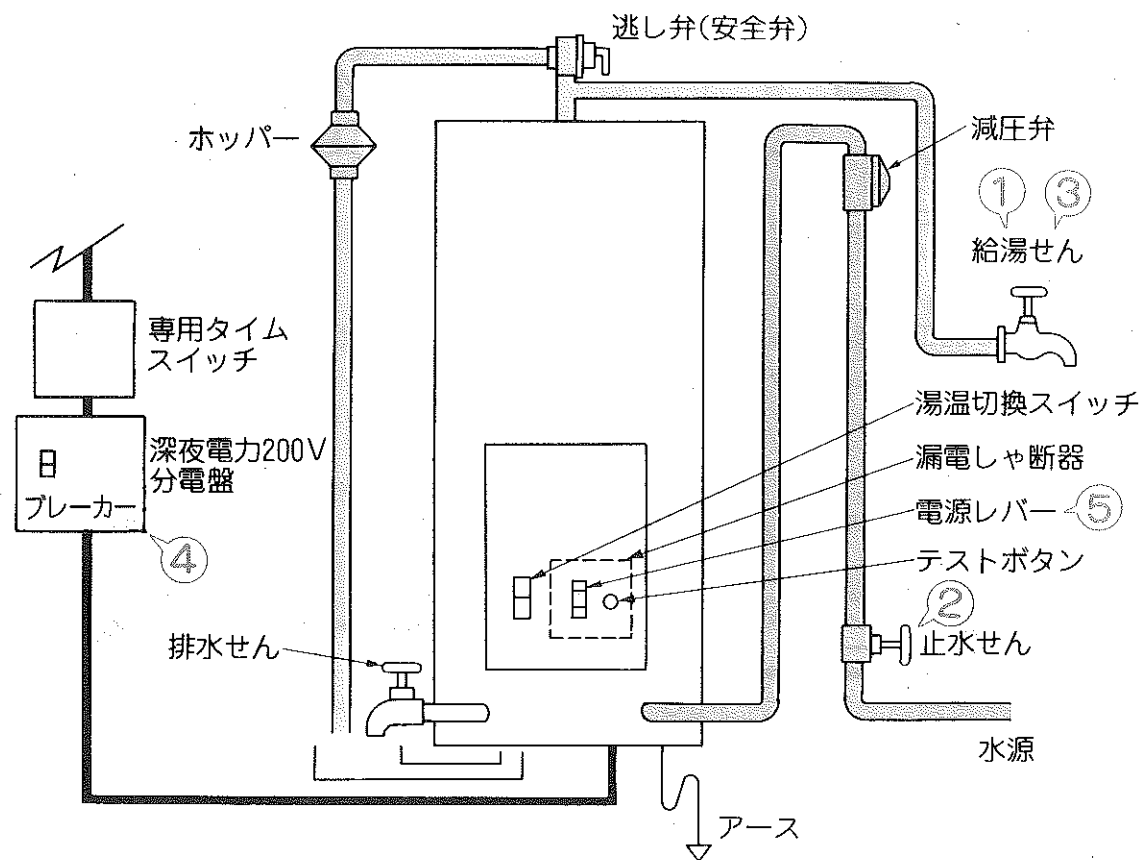
ご注意 お買求めいただいた温水器は屋内設置専用です。

使用方法

使用前の準備

●使いはじめは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混じってですがしばらく後には消えます。

使いはじめやタンクの清掃後などでタンクが空の状態のときは次の手順で準備してください。



●深夜電力の通電中に排水溝へお湯が漏れるのは水からお湯になるときの膨張分で逃し弁が正常に作動しているからです。

給水

- ① 給湯せん(混合せんのお湯側)を開きます。
- ② 止水せんを開きます。
- ③ 給湯せんから水がでてきたら満水です。給湯せんを閉じます。
(空の状態から満水までは約30分ほどかかります。)

電源

- ④ 深夜電力電源200Vのブレーカーを「入」にします。
- ⑤ 漏電しゃ断器の電源レバーを「入」にします。

※通電は専用のタイムスイッチにより毎日自動的に行います。

翌朝から給湯せんを開くだけでお湯が得られ
温水器には自動的に給水されます。

凍結防止について 暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください

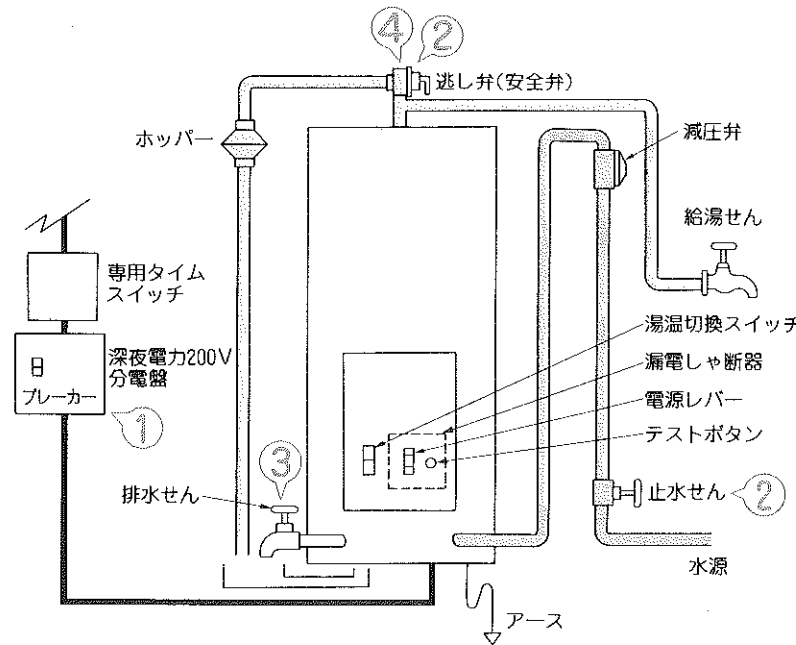
冬期は寒冷地だけでなく、暖かい地域でも周囲温度が0℃以下になる場合には配管や減圧弁が凍結する恐れがありますので、凍結防止対策が必要です。

凍結防止対策としては「凍結防止ヒーターによる方法」「水抜きによる方法」などがあります。

どの方法が施工されたのか工事店に確認してください。

凍結防止ヒーターによる方法	水抜きによる方法
配管に凍結防止ヒーターを巻き、配管を暖めて凍結を防止する方法。	配管内の水を全て抜く方法。

タンク内の水抜きをする場合(1ヶ月以上)



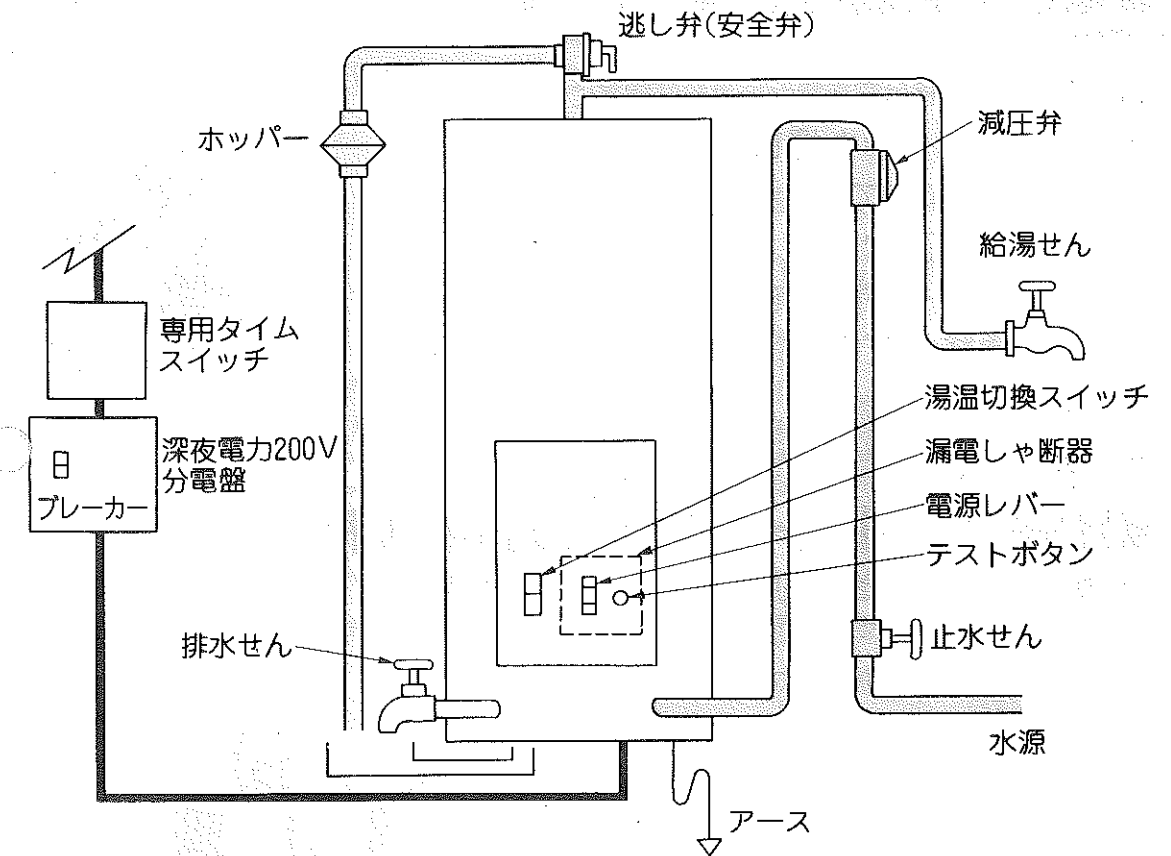
お湯をすてるムダを少なくするため、お風呂などに給湯をし、大量の湯を使用した後行ってください。

- ① 深夜電力電源200Vのブレーカーまたは漏電しゃ断器の電源レバーを「切」にします。
- ② 止水せんを閉じてから、逃し弁のレバーを上げます。
- ③ 排水せんを開きます。
(熱いお湯が出る場合がありますので、ヤケドに注意してください。)
- ④ 排水が終わりましたら逃し弁のレバーを下げ、排水せんを閉じます。

タンク内の水抜きをしない場合(1ヶ月以内)

冬期、凍結の恐れのある場合は1ヶ月以内でもタンク内の水を抜く方法で行ってください。

- ① 漏電しゃ断器の電源レバーを「切」にします。
- ② 止水せんを閉じてください。



配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか、特に冬期に入る前にチェックし、異常のある場合は工事店に修理依頼してください。



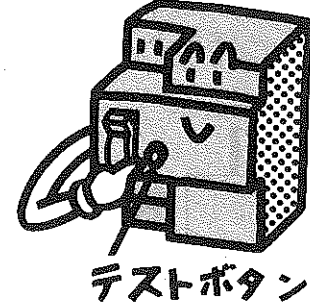
タンクのお手入れ(1~2ヶ月に1度)

- ① 排水せんを1~2分間開き排水します。
(熱いお湯が出る場合がありますので、ヤケドに注意してください。)
- ② 排水がきれいになったら排水せんを確実に閉めてください。
排水がきれいにならなかったら数回繰り返してください。

漏電しゃ断器の点検(月に1度)

漏電しゃ断器の点検は深夜電力の供給時間帯に行ってください。

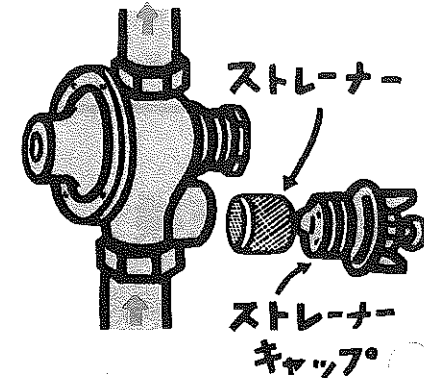
- ① テストボタンを押します。
「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。
※電源レバーが動作しない場合は工事店にご連絡ください。
- ② 電源レバーを「入」にもどします。



減圧弁(ストレーナー部)のお手入れ

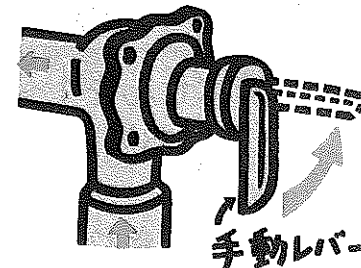
(水あかやゴミなどが付着しお湯の出方が悪くなったとき)

- ① 止水せんを閉じます。
- ② プライヤーなどでストレーナーキャップを外します。
- ③ ストレーナーを取出し水洗します。
- ④ きれいにしたストレーナーをもとにもどしストレーナーキャップを確実にネジ込みます。
- ⑤ 止水せんを開きます。
※取外した保温材は必ずもと通りに取付けてください。



逃し弁の点検(月に1度)

- ① 深夜電力の通電時間以外に逃し弁よりお湯が出ていないことを確認してください。
- ② お湯が漏れている場合は、手動レバーを数回上下に動かし、弁部に付着したゴミを流し出してください。それでもお湯が止まらない場合は止水せんを閉じて工事店にご連絡ください。



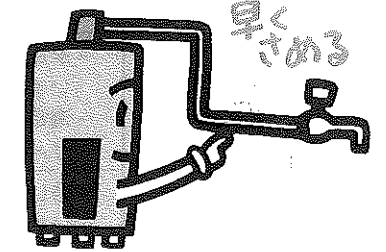
特に冬期は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になることがありますから上手に使いましょう。

使用する湯量の少ない時(水温の高い夏期等)は湯温切換を「低」にしますと、電気料金が節約できます。
湯量が不足気味になりましたならば必ず湯温切換を「高」に戻してください。

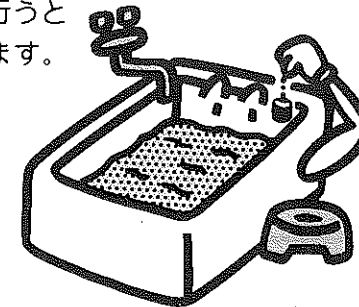
流し洗いはお湯のムダ使いになります。
お湯は容器に受けて使いましょう。



配管内のお湯は早くさめます。
給湯せんの開閉回数をできるだけ少なくすると効果的です。



お風呂への足し湯は浴槽内の湯を少し減らしてから行うと節約できます。



入浴はできるだけ深夜電力の通電時間中を避けて連続して入るようにしましょう。
通電中にお湯を使うと翌日の湯温が低くなることがあります。



アフターサービスと保証

● 保証書——内容のご確認と保存のお願い

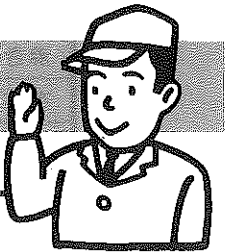
この商品には保証書がついております。保証書は工事店で所定事項を記入します。
記載内容をご確認いただき大切に保存してください。

● 保証期間——本体…1年(タンク5年)

保証書の記載内容により工事店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理については、工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

● 補修用性能部品の最低保有期間について

当社は当製品製造中止後、8年を基準に補修用性能部品を保有しております。
なお保証期間中の修理などアフターサービスについて、ご不明の場合は工事店か北電管配エンジニアリング株式会社にお問合わせください。



修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、つぎの点検を行ってください。
それでも不具合のあるときは工事店にご相談ください。
保証期間内の場合は保証書をご提示ください。

現象	点検事項	処置
お湯が出ない 出が悪い	・断水していませんか	断水が終わるまで待つ
	・止水せんは開いていますか	閉じていれば開く
	・配管部分が凍結していませんか	とけるまで待つ
	・減圧弁のストレーナー部が詰まっていますか	お手入れをしてください(9ページ)
お湯が沸かない 足りない	・湯温切換スイッチが「低」になっていませんか。	湯温切換スイッチを「高」にする
	・深夜電力電源のブレーカーが「切」になっていませんか ・漏電しゃ断器のレバーが「切」になっていませんか	「切」になっているときは、「入」にする。
	・逃し弁の排水側より屋間にお湯か水が流れていませんか	逃し弁を点検してください。(9ページ)

「日常の点検とお手入れ」(8～9ページ)や3～4年ごとに工事店による、保守・点検をおすすめします。
部品の減圧弁、逃し弁などは消耗部品です。消耗や劣化している場合は交換してください。

仕様

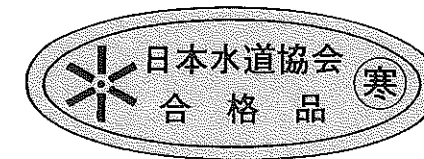
形名	HE-2201	
対応制度	第2深夜電力(5時間)	
定格	単相200V・4.4kW	
沸き上げ湯温	約85/65℃	
本体寸法(mm)	高さ1753×φ530	
重量	本体	37kg
	満水時	257kg
安全装置	漏電しゃ断器・温度過昇防止器・アース端子	
温度調節	バイメタル式サーモスタット	
発熱体	ステンレスパイプシーズヒータ	

●この温水器は屋内設置専用です。

この機器は、労働省・労働安全衛生法施行令(昭57.4.20政令第124号)及び日本工業規格(JIS)により、水頭圧10m以下(1kgf/cm²以下)で使用することが義務付されているため、必ず減圧弁及び逃し弁を取付けて使用して下さい。

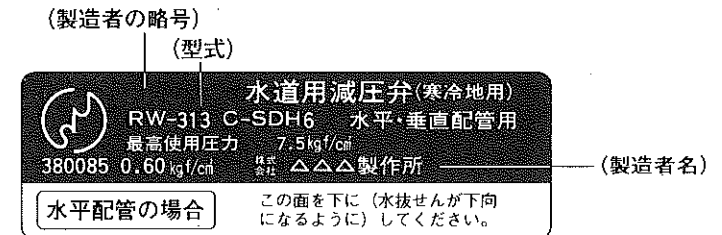
- 水道に直結して使用する場合は、必ず次に掲げるもので、かつ、当該水道事業者が承認するものを使用して下さい。
 - (社)日本水道協会の型式登録品で、かつ、検査合格証が貼られている減圧弁及び逃し弁又は、
 - JISマークが表示されている水道用減圧弁及び温水機器用逃し弁
- 水道に直結する場合で、寒冷地用の減圧弁及び逃し弁の使用が義務付されている地域では、必ず次の表示を確認の上、使用して下さい。
 - (社)日本水道協会の「型式登録品で、かつ、その検査合格証のあるもの」の場合。減圧弁・逃し弁ともに、(社)日本水道協会の検査合格証に丸・寒表示がある。

丸・寒ラベル



- JISマーク表示品の場合
水道用減圧弁は、設定圧力0.6kgf/cm²、又は0.65kgf/cm²JISマーク及び「寒冷地用」の表示がある。

減圧弁のラベルの例



温水機器用逃し弁は、吹始め圧力0.90kgf/cm²とJISマークの表示がある。

逃し弁のラベルの例

